

四月二十五日(水) 午後三時

於 研究所小會議室

「信仰的実存——本願成就の文を手掛りとして——」

博士課程一回生 籙 弘信

一、本年度研究事業計画

◇「真宗学事研究」研究会
五月三十一日(木) 午後四時十分

於 研究所會議室

「三帖和讀における圈発について」

博士課程一回生 出雲路英淳

一、本年度の研究テーマについて

◇「海外仏教研究」研究会
五月二十九日(火) 午後四時十分

(各研究員)

◇ゼミクラス委員・教員懇親会

◇臘扇忌法要

六月六日(水) 四時より

於 やません

一、資料整理の進捗状況報告
(各研究補助員・各資料整理員)

◇「海外仏教研究」研究会

五月二十九日(火) 午後四時十分

於 研究所會議室

記念講演

「清沢満之における『自己』」

協本平也先生

報告 法宝義林研究所員

Robert Digneune 氏

◇研究例会

六月十二日四時

於 第一研究室分室一

「フランスにおける仏教学研究」

真宗学會

研究発表

「与仏教相応について」

博士課程一回生 高柳 正裕

◇新入会員歓迎講演会並総会

五月二十九日(火) 於 一〇八教室
講演「真宗学に聞く」 広瀬果先生

「現生正定聚の自覚道」

博士課程二回生 金石 忍

◇研究例会 五月二十九日(火) 四時

於 第一研究室分室一

仏教学會

◇新入会員歓迎会

真宗総合研究所

◇研究所委員会

五月十七日(木) 十二時

於 研究所小會議室

一、『研究所報』第10号発行の件(承認)

一九八四年六月三十日発行

〈内容目次〉

総合研究体制の内実化

真宗総合研究所長 武田 武麿

昭和五十九年度「指定研究」研究計画紹介

昭和五十八年度「指定研究」研究経過報告

昭和五十八年度「一般研究」研究概要

「海外仏教研究」研究会報告要旨

ノースランド大学教授

Thomas P. Kasulis 氏

◇「真宗学事研究」全体会議

五月十日(木) 十二時

於 研究所小會議室

一、本年度の研究計画について

◇「海外仏教研究」全体会議

研究発表

◇新入会員歓迎会

五月二十六日(土) 於 妙顕寺
 ◇仏教学会例会

六月二十六日(火)

於 三一〇三教室

研究発表

「サーンキヤ思想における識別知(Perikhyai)の変遷」

博士課程三回生 浅野 玄誠

「大乘アビダルマ思想における心理論

の特質」 専任講師 吉元 信行

引き続き懇談会が第一研究室分室で行なわれ、活発な意見の交換があった。

宗 教 学 会

◇大拙忌 記念講演会

六月三十日(土) 午後一時より

於 大谷大学尋源講堂

「大拙先生に教わったこと」

講師 大徳寺竜光院住職 小堀南嶺氏

出席者 大屋教授、武田教授、堀尾助教授、

築山助手ほか院生、学生並びに西谷啓治、

坂本弘両先生はじめ宗教学卒業生 約五十名。

本講演会も今年度で第三回を迎え、講師

の小堀先生から、鈴木先生に関する貴重なお話しをいろいろと拝聴することが出来た。

国 史 学 会

◇教入会員歓迎史蹟踏査

五月二十三日(水) 午後一時三十分 出雲

路橋西詰集合 寺町通今出川以北鞍馬口以

南を踏査(阿弥陀寺―十念寺―仏陀寺―相

国寺)

阿弥陀寺庫裡にて新入会員歓迎会を併せ催

し、会長の堅田先生、新任理事の大桑先生

等から歓迎の辞があった。

参加 堅田教授、大桑教授、豊島専任講師、

木場助手、学生四十名。

◇春季例会(研究発表会)

六月二十七日(水) 午後二時三十分

於 尋源講堂

研究発表

一、南九州の狩猟儀礼

大学院博士一回 永松 敦氏

一、中関白家の人々

平安博物館嘱託 関口 力氏

尚、開会の挨拶後、六月十二日に逝去され

た国史学会理事佐々木孝正助教授の御冥福

を祈って参会者全員にて黙悼を捧げた。

◇四月より国史学分野に、隣接の日本仏教史分野より大桑齊先生を教授としてお迎えした。それにより、大桑先生には新たに国史学会理事としても御活躍願うこととなつた。

◇兼ねて入院加療中であつた国史学会理事佐々木孝正助教授には、六月十二日午後三時二十分、敗血症のため御逝去になられた。

尚、葬儀は六月十四日午後二時より京都市内の先生の御自坊で執り行なわれ、法名真

教院釈孝正と名づけられた。行年四十八才であられた。

日本仏教史学会

◇新入生歓迎史蹟踏査

四月九日(水)

相国寺美術館見学、午後五時半より清水

順正にて懇親会

参加者 北西・名畑・大桑教授、佐々木

(令) 専任講師、上場・リノ・ペリーニ、

草野非常勤講師、藤原特別研修員、学生

約四十名。

◇大学院研究旅行

六月六日(水)七日(木)、

郡上八幡方面

六月六日午前八時半京都発

八幡町・安養寺調査、八幡町泊。

六月七日

八幡町・最勝寺、大和村・恩善寺・長徳寺調査、午後八時京都有着。

参加者||北西教授、草野非常勤講師、藤原特別研修員、院生等十名。

東洋史学会
東洋仏教史学会

◇ガンダーラ美術展見学ならびに補導懇談会

五月二十八日(月)

於 国立国際美術館

参加者||大内専任講師、三回生十八名

◇東洋学研究会(東洋史学会)

最近、学術雑誌に掲載された論文をめぐって、毎回長時間の討論が行なわれた。

* 五月二十一日(月) 午後四時

於 第三研究室第二分室

論文及び著者名

「歴代三宝紀帝年攷」(『大谷学報』第六十

三巻第四号所収)

専任講師 大内 文雄

「征服王朝における信仰形態——金、元交替期の河東の場合——」(『真宗総合研究所紀要』創刊号)

教授 藤島 建樹

参加者||藤島教授、安藤助教授、大内専任講師、大西特別研修員、院生四名

* 六月二十五日(月) 午後三時

於 第一小会議室

論文及び著者名
「仏駄跋陀羅伝攷」(『大谷大学研究年報』第三十六集所収) 教授 滋賀 高義

参加者||滋賀、藤島両教授、安藤助教授大内専任講師、大西特別研修員、院生五名

短期仏教科

◇一・二回生合同一夜研修会

六月十六・十七日(土・日)

於 京都 興正会館

テーマ||大学生生活について

参加者||学生一三〇名、小野短期大学部長、古田仏教科主任、名畑、神戸、安藤、舟橋、江上、木村、吉元、安富、小谷、延塚、宮下、一色、大沢、藤嶽の諸教員、

その他。

短期国文科

◇春季史蹟見学ならびに補導懇談会

* 一回生A Bクラス、五月十八日(金)

宇治・黄檗方面へ。石橋助教授、後小路助手。学生六十三名。

* 一回生C Dクラス、五月二十一日(月)

嵯峨方面へ。片岡教授、沙加戸助手。学生五十八名。

* 二回生A Bクラス、五月二十二日(火)

伏見・男山方面へ。渡辺教授、後小路助手。学生三十一名。

* 二回生C Dクラス、五月十五日(火)

三井寺・石山寺方面へ。喜多川専任講師、沙加戸助手。学生三十六名。

幼児教育科

◇仏教保育総合の一環として、幼児教育科

幼児教育科

教員引率のもと、インド美術の見学が行なわれた。尚、見学にもない、古代インド

について、本学仏教学科の小川一乗教授、

長崎法潤教授に講義していただいた。

○六月六日(水) 対象一回生

午前、「日本国際美術展」(インド現代美術)見学。於京都市立美術館。

講義、小川一乘教授、於京都伝統産業会館。

午後、「インド古代彫刻展」見学。於京都国立博物館。

○六月二十一日(木)、対象二回生

午前、講義、長崎法潤教授、於二〇〇一教室。

午後「インド古代彫刻展」見学。於京都国立博物館。